

Japan-USA-Germany Wolf Forum 2016

通訳付き

日・米・独 オオカミ フォーラム

2016.10/22 [SAT] ⇨ 10/27 [THU]

Forum appeals

「オオカミは怖くない
- 赤ずきんちゃんはウソ」
「オオカミは自然の守り手」

Wolves are neither of nature:
Never fear wolves.
Little Red Riding Hood Lying

FREE
参加費 無料

[問い合わせ]

0558-64-8800

ranf2687@brown.plala.or.jp

10月22日[土] 開演 13:30-16:30

〔徳島〕ふれあい健康館 (パネル展示あり)

徳島県徳島市沖浜東2丁目16番地
徳島市営バス「ふれあい健康館ゆき」
松林直行・佐伯雅子 (JWA四国支部: TEL090-6282-9550)

10月23日[日] 開演 14:30-16:30

〔福岡〕添田町民会館 (パネル展示あり)

福岡県田川郡添田町大字添田517-1
添田駅から徒歩9分
武貞誉裕 (JWA九州支部: TEL090-2965-8081)

10月24日[月] 開演 17:30-20:30

〔広島〕鈴峯女子短期大学 会議室 (パネル展示あり)

広島県広島市西区井口4丁目6-18
広電宮島線修大付属鈴峯前下車北へ徒歩3分
山陽線五日市駅下車東へ徒歩15分
新田由美子 (JWA中国支部: TEL082-278-1130)

10月25日[火] 開演 18:15-21:00

〔京都〕キャンパスプラザ京都 4F第三講義室

京都府京都市下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939
京都駅烏丸中央口出て左へ徒歩5分
物部礎 (JWA近畿支部: TEL090-5057-1187)

10月27日[木] 開演 13:30-16:30

〔横浜〕神奈川県民ホール 大会議室6F (パネル展示あり)

神奈川県横浜市中区山下町3-1
みなとみらい線日本大通り駅3番出口より徒歩8分
白木登 (JWA神奈川県支部: TEL080-5408-9775)
写真などのパネル展示 11:00-13:30 [隣接小会議室]

後援

※1 福岡フォーラムのみの後援になります。 ※2 横浜フォーラムのみの後援になります。

- | | | |
|-------------------|-----------|----------------|
| ドイツ連邦共和国大使館 | 徳島新聞社 | 添田町教育委員会 ※1 |
| 公財)日本生態系協会 | 朝日新聞徳島総局 | 大任町教育委員会 ※1 |
| 伊豆ユネスコクラブ | 毎日新聞徳島支局 | 川崎町教育委員会 ※1 |
| NPO法人神奈川県自然保護協会 | 読売新聞徳島支局 | 日田市教育委員会 ※1 |
| アカザを守る会 | 高知新聞社 | 北九州市教育委員会 ※1 |
| 市民活動連盟キーストーンちば | RKC高知放送 | 田川市教育委員会 ※1 |
| NPO法人四季の森里山研究会 | 愛媛新聞社 | みやこ町 ※1 添田町 ※1 |
| 公社)徳島県労働者福祉協議会 | コープ自然派しこく | 香春町 ※1 赤村 ※1 |
| 公財)徳島県労働者福祉ネットワーク | 四国放送株式会社 | 横須賀市教育委員会 ※2 |

主催 一般社団法人日本オオカミ協会

〒415-0531 静岡県賀茂郡南伊豆町伊浜2687-56

http://www.japan-wolf.org/

日・米・独 オオカミフォーラム 2016

Japan-USA-Germany Wolf Forum 2016

01 オオカミへの恐れ解消

ヨーロッパと北米の具体的な事例と啓発活動実際例の紹介

02 オオカミによるシカ頭数調節と生態系保全

北米(イエローストーンを含むロッキー北部及び五大湖沿岸地方)及びドイツでの事例紹介

03 オオカミの生態系及び生物多様性の回復

保全能力に関する具体的事例の紹介

FREE
参加費 無料

[問い合わせ]

0558-64-8800

ranf2687@brown.plala.or.jp

パネリスト



Shannon Barber-Meyer

シャノン・バーバーマイア (米)

学術博士。イエローストーンや五大湖地方のオオカミによるシカ類の頭数調節を研究。合衆国地理調査研究所(USGS) 研究員。



Steve Braun

スティーブ・ブラウン (米)

イエローストーン、グレイシャー国立公園のオオカミやシカ類など野生生物と自然生態系保全教育、エコツーリズムを専門。Adventure Yellowstone, Inc.代表。日本語堪能。



Markus Bathen

マーカス・バテン (独)

ドイツ自然・生物多様性保護連合(NABU:1899年設立、会員50万人) 政策責任者。同連合“ウエルカム・ウルフ”プロジェクトリーダー。日本オオカミ協会招聘により2015年初来日、東京など5都市で講演。



Carina Wagner

カリーナ・ワグナー (独)

ドレスデン工科大学にて森林科学専攻。ゼンケンベルグ自然研究所・博物館研究員。オオカミの食性、シカ頭数調節など研究。

コーディネーター

丸山 直樹 Naoki Maruyama

農学博士。東京農工大学名誉教授。一社) 日本オオカミ協会会長、専門は自然保護文化論、野生動物保護学。編著書「オオカミを放つ」「地球は誰のもの?」「オオカミが日本を救う!」など。シカ、カモシカ、ツキノワグマなど研究論文多数。オオカミを訪ねてポーランド、スペイン、ドイツ、米国、中国、モンゴルなど調査・訪問。

朝倉 裕 Hiroshi Asakura

一社) 日本オオカミ協会常務理事。オオカミを訪ねてイエローストーン、内モンゴルなど訪問。評論「ジビエを食べればシカは本当に減るのか?」(フォレスト・ウイズ2016) など。著書「オオカミと森の教科書」訳書「ウルフ・ウォーズ」各地でオオカミ講演開催。

**自然は自然のままに
オオカミを呼び戻そう、昔のように**

日本の森林生態系の危機は全国的に拡大するばかり。

シカの増え過ぎが原因。鳥や虫の音が消え、カモシカやクマなど

多くの生物が食べ物と住処を失い、土壌が流れ、山が崩れています。ふるさとを守るために生態系の回復を!



防護フェンスで大丈夫?

NO! フェンスではシカは減らせない。

狩猟・駆除では?

NO! ハンターは減少・高齢化。

日本のハンター

1970年代・約52万人⇒現在10万人台

ニホンジカ密度分布図(全国)

2014年度当初・中央値

